

Report

能登半島派遣報告

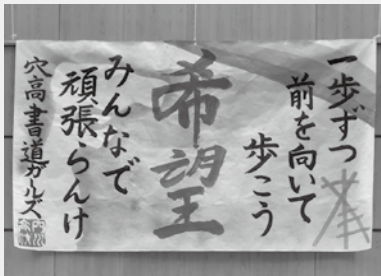
会場

能登事業者支援センター

応援経営支援員

当所支援グループ

日比野 康範



令和6年12月2日～6日の期間、能登事業者支援センターにおいて被災事業者様からの補助金申請の受付・相談のサポートを対応しました。

私が対応した事業者の方々は被災から時間を経ているせいか、打ちひしがれているのではなく事業の再建に前向きで意欲的でした。事業者様をお二人紹介します。

一人目は、被災物件に代わり「なりわい再建支援補助金」で宿泊施設建設を計画し、その開業前に能登地区から一時的に移住した被災者の方が、能登に戻って本格的に復興事業を開始するための住居を提供する計画。実際には「不動産賃貸事業」では補助金対象外でしたが宿泊施設建設として進めていく様子でした。

二人目は約150年続く老舗酒蔵の若い5代目蔵元。被災した酒蔵のうち「なりわい再建支援補助金」により最も主要な醸造蔵の復旧計画の進め方についての相談でした。彼は早急に醸造蔵を復旧して以前のような出荷量を確保し、特に震災後人口流出が目立ってきた能登地区に若者が戻ってこれるよう雇用の場を広げたいと熱心に語っていたことが印象的でした。

このお二人のような若い経営者がいれば、能登は必ずいいかたちで復興すると感じました。本稿をお読みの会員事業者の皆様、どうか能登の方々に応援してください。心を寄せてあげてください。

最後に能登事業者支援センターでお世話になった方々皆様にお礼を申し上げるとともに、「のと里山空港」エントランス壁面に掲げられた地元高校書道ガールズのしたためた書の言葉をご紹介します。

「一歩ずつ前を向いて歩こう **希望** みんなで頑張らんけ!!」